

令和6年度浦安市郷土博物館企画展

浦安の漁撈ぎょうろう——刺網漁さしあみりょう——

令和7年3月 22 日(土)～5月 25 日(日)

入館料:無料 開館時間:9:30～17:00

会期中の休館日:毎週月曜日(5月5日は開館)、4月25日(金)、4月30日(水)
5月8日(木)、5月9日(金)、5月13日(火)

共催:漁村文化研究会

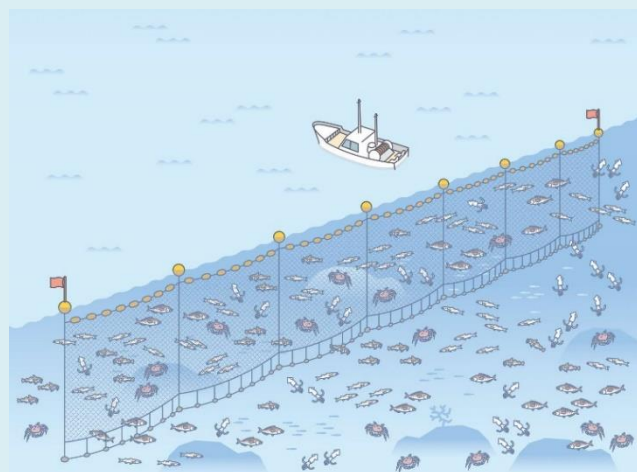
浦安市郷土博物館

住 所:千葉県浦安市猫実1-2-7 電 話:047-305-4300
アクセス:東京メトロ東西線浦安駅より「おさんぽバス」医療センター線
新浦安駅行/JR京葉線新浦安駅より「おさんぽバス」医療セ
ンター線 医療センター行 健康センター・郷土博物館下車

令和6年度浦安市郷土博物館企画展 「浦安の^{ぎょうろ}漁撈—^{さしあみりょう}刺網漁—」

刺網漁とは、上に「ウキ」、下に「オモリ」をつけた網を水中に設置し、網目に刺さったり、網に絡んだりした魚などをとらえる漁法です。浦安では「小網(こあみ)」とも呼ばれ、昭和40年代ごろまで盛んに行われていました。

同じ刺網でも、取る魚の種類によって網目の大きさや設置方法が異なり、その特徴は多岐にわたります。今回の企画展では、当館の漁具の中でも一番多く収蔵されている刺網を一堂に集め、その種類や漁法を紹介します。

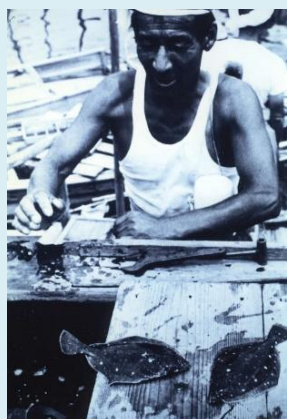


出典：農林水産省ホームページ

魚介類の宝庫 浦安

三方を川と海に囲まれた浦安では、江戸川が運んでくる豊富な栄養分を含んだ三番瀬の海で、様々な漁を行っており、その漁法は200種類以上にも及ぶと言われています。しかし、昭和46年(1971)の漁業権全面放棄以降、それらの文化は廃れかけていきました。

今回の展示では、昭和46年頃から、浦安の漁撈習俗について調査し、また漁業権放棄に伴い失われつつあった漁撈用具を収集してきた「漁村文化研究会(元 東邦大学漁村問題調査研究自主ゼミナール)」の協力のもと、浦安の刺網漁から、かつての浦安の生活や、海の環境に迫ります。



関連事業

(1) ミュージアムトーク(展示解説会) 全2回(いずれも同じ内容です)

日時: 4月6日(日) 14時~15時

5月11日(日) 14時30分~15時30分

講師: 担当学芸員、漁村文化研究会

定員: 各回 30名(事前申し込み不要、直接会場へ)

場所: 郷土博物館2階 企画展示室

(2) 講演会「資料収集の頃」

日時: 4月20日(日) 14時~15時

講師: 漁村文化研究会

定員: 40名(3月20日(木)より電話または博物館受付、ちば電子申請サービスで申込)

場所: 郷土博物館1階 視聴覚室



博物館ホームページ ちば電子申請サービス